



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

今月の話題

- ◆ 滋賀県の作況指数 9/25現在
- ◆ 気象から見た米の概況
- ◆ 気象変動に負けない米作り
- ◆ 農業用廃プラスチック類回収のご案内
- ◆ アグリマイティ資金のご紹介
- ◆ 農政ダイジェスト



メモ

ラウンドアップマックスロード

申込期限11/30まで



10月21日に山東支店管内の圃場で土壌pH測定を行いました。土づくり資材「田華の豊稲」は、多くアルカリ成分を含んでおり、カドミウム吸収抑制対策として非常に有効な資材となります。

また田華の豊稲には稲わらの分解促進効果もあるため、今年度に還元障害に悩んだ方には次年度対策として、散布後の秋鋤がお勧めです。

滋賀県の作況指数 9/25現在

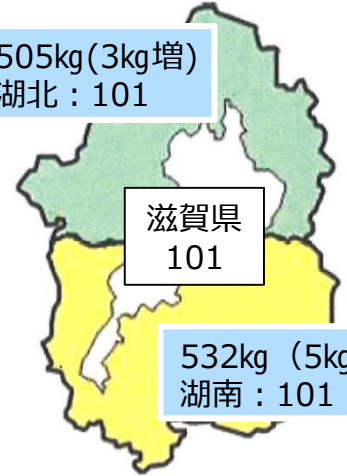
【作柄概況 湖北地域】

- ✓ 穂数は、田植期以降の5月中旬の日照不足であったものの、「**平年並み**」の見込み
- ✓ 1穂当たりの粒数、全もみ数とも「**平年並み**」の見込み
- ✓ 登熟は、出穂期以降の8月中下旬が日照不足であったが、7月下旬から8月上旬が高温・多照と9月以降の気温が平年を上回って推移したことから「**平年並み**」
- ✓ 作況指数は101（平年並み）の収量が見込まれる

【10/14 近畿農政局公表】

※ () 内は前年差

505kg(3kg増)
湖北：101



532kg (5kg増)
湖南：101

滋賀県全体：523kg(4kg増)

滋賀県の作況指数：101

【近年の湖北地域の作況指数】

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
102	97	100	104	100	99	98	98	100

- 近畿の作況指数は101（10a当たり予想収量514kg）の見込み

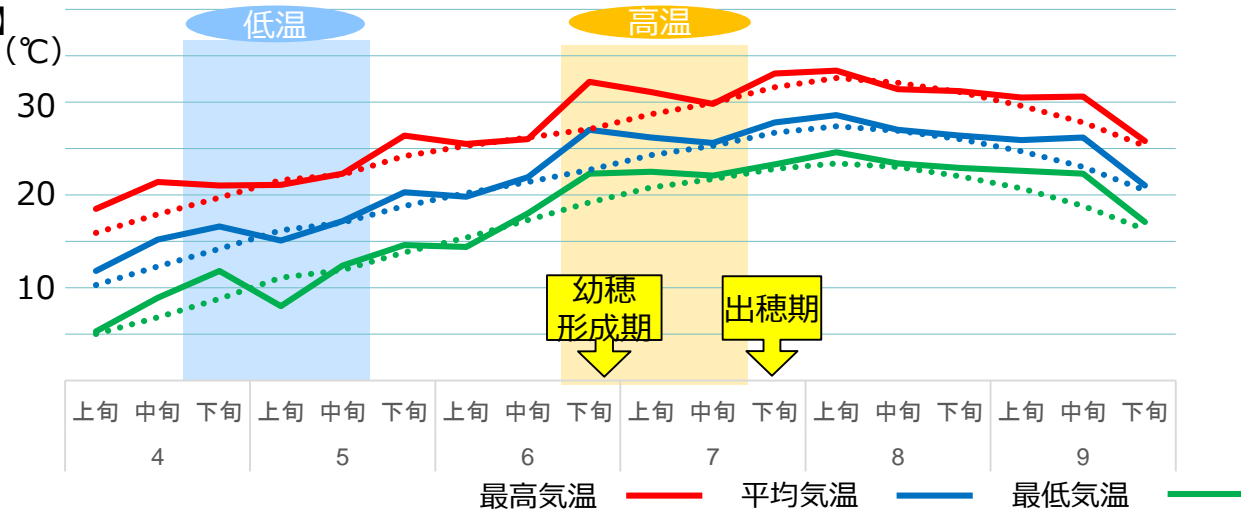
気象から見た米の概況

今年産は、4月下旬から5月中旬へ平年より気温が低く、日照不足が続いたことと、6月下旬から7月中旬まで平年より気温が高く、幼穂形成期に影響を及ぼしました。

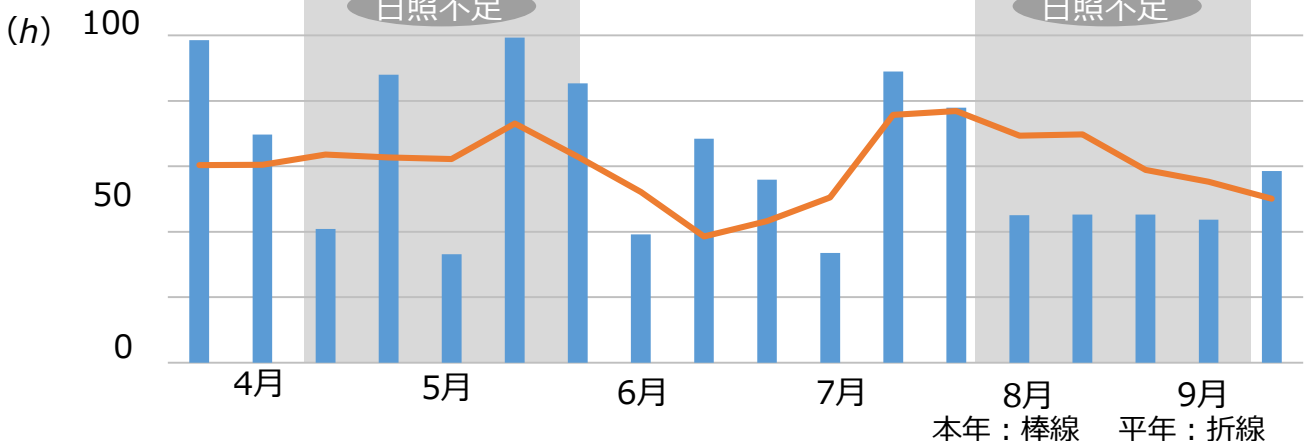
令和4年稲作期間半旬別気象表

本年：—— 平年：.....

【気温の推移】



【日照時間の推移】



気象変動に負けない米作り

今年産米は、他未熟粒や乳白・心白により品質低下が見られました。品質低下の要因の一つである高温気象条件下においては、穂肥の適期の施肥と水管理が重要となります。穂肥の施肥時期と水管理のポイント、および品質向上に繋がる生産資材をご紹介します。

穂肥の施肥と水管理のポイント

コシヒカリ栽培暦

月	6月		7月			8月			9月
	下	上	中	下	上	中	下	上	
生育期		幼穂形成期			出穂期	登熟期			
水管理		湛水管理(出穂前後各3週間)							
作業		穂肥 ①	穂肥 ②		防除		落水	収穫	

水管理のポイント

- こまめな水管理 ●夕方入水 ●深水管理 ●常時湛水管理

土づくり資材の施用とあわせて深耕により作土深15cm以上確保しましょう。作土深が浅いと、根張りが浅く登熟期の高温に対する抵抗力を弱めます。

落水後の管理

- 収穫前まで土を白く乾かさない。

一発肥料のポイント

- 出穂時の葉色確保
- 一発肥料を施肥されていても、出穂前に葉色が薄ければ、外観品質の向上のため、(N:1kg/10a)を施用します。

2回目の穂肥

- 出穂4日前の散布(穂肥1回目から2週間後)

けい酸加里プレミア34のご紹介

高温障害軽減など品質の向上にけい酸加里プレミア34をご紹介します。マルチサポート2号とともに効果の高い資材です。

➤ けい酸プレミアム34とマルチサポート2号の比較

● けい酸加里プレミア34

- ・散布時期：田植え後30～45日に散布(中干前頃)
 - ・散布量：20kg～40kg/10a
 - ・保証成分：
 - ＜溶性加里 20%
 - 可溶性けい酸 34%
 - ＜溶性苦土 4%
 - ＜溶性ほう素 0.1%
 - ・その他含有成分：
 - 石灰 7～12%
 - 鉄 2～5%
- ※＜溶性：ゆっくり長く根から吸収される成分



不足しがちな「けい酸」と「加里」を補うことで、高温障害軽減や収量・品質向上が期待できます。

● マルチサポート2号

- ・散布時期：出穂約40日前までに散布
- ・散布量：20kg～40kg/10a
- ・保証成分：
 - 水溶性苦土 12%
 - 水溶性マンガン 0.2%
 - 水溶性ほう素 0.2%
- ・その他含有成分
 - けい酸 20%
 - 鉄 3%
 - 銅 0.02%
 - 亜鉛 0.05%



総合ミネラル入りマグネシウム肥料。登熟を良好にし、品質・食味向上が期待できます。

農業用廃プラスチック類回収のご案内

日時	場所
令和4年11月26日(土) 9:00~11:30	JALーク伊吹 近江カントリーエレベーター 神照カントリーエレベーター
令和4年12月3日(土) 9:00~11:30	JALーク伊吹 伊吹カントリーエレベーター 長浜カントリーエレベーター

※委任状兼口座振替依頼書をお忘れなく!

※運搬車両の両側面に別紙「産業廃棄物収集運搬者氏名 ○○○○」の表示をお願い致します。

回収の対象物を再度、確認しましょう。



＜対象となるプラスチック類＞

● 農ポリ、育苗箱、畦波シート、肥料袋など

※ 廃タイヤ、農薬の紙袋、ガラス瓶、中身が残っている肥料・農薬の容器などは出せません。

※ 園芸用の支柱(イボ支柱・トンネル支柱)で金属が含まれているものは回収できません。

アグリマイティ資金のご紹介

農業融資のこと、農業経営のことは、JAにご相談下さい。

お使いみち

- 農産物の生産・加工・流通・販売に関する運転資金や設備資金
- 再生可能エネルギー利用の取組を支援するための発電・蓄電設備取得資金
- 農業の成長・安定に向けた各種交付金までのつなぎ運転資金
- 自然災害等による農業経営の一時的な悪化に対応するため、農業経営の維持や再開を目的とした緊急性を要する資金

0.2%

最大軽減・補給後の定期用金利

最大年1%、
最長5年間の
JAバンク
利子補給



ひと月の
動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

～定価(税込)618円 購読申込受付中～

米価見通しが急上昇

米穀機構が8月の景況調査(DI)を発表。向こう3カ月の米価水準見通しは63。資材高騰などによる生産費用の増大を受け、前月比プラス7と急上昇した。その一方で、需要動向見通しは前月と変わらず40のまま。

水稻生育に温暖化の影響が強まる

農水省が16日に「令和3年地球温暖化影響調査レポート」を発表。21年は北・西日本を中心に平均気温が高かったことなどから、水稻の白未熟粒の発生した都道府県は31で17年と比べ、プラス8となった。また、害虫の発生は18で、同プラス9、胴割粒の発生は14でプラス10となった。同省は水稻育成に温暖化の影響が強まっており、水管理の徹底や適期移植・収穫、肥培管理などの適応策の実施がたいせつとしている。

みどりの食料システム法の本格運用がスタート

農水省は、化学肥料使用量の低減などを進める農業者や事業者を支援する「みどりの食料システム法」について、15日から申請受付を開始した。今後は都道府県や市町村による基本計画の作成の支援や機械・資材メーカーへの税制の活用促進などの働きかけを進める。

10月期の輸入小麦価格据え置き

農水省が10月期の輸入小麦の政府売渡価格について4月期の価格を適用し、実質据え置くことを発表。ロシアのウクライナ侵攻などが原因で急騰していた国際価格が、輸出が再開されたことやアメリカの生産状況改善によってほぼ侵攻前の水準に戻ったため。2023年4月以降の価格は、22年3月以降の1年間の買付価格を基に算定するとしている。